

令和7年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第3回急変時対応部会を開催しました



○令和8年1月21日(水)、豪雪のため第3回急変時対応部会はZoomでの開催となりました。部会員6名、上越地域在宅医療推進センターコーディネーター1名、事務局3名が参加しました。

<今回の議題>

- (1) 令和7年度第1回上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の報告
- (2) 市民啓発部会との合同研修会の振り返り
- (3) 第3期(令和5~7年)の活動の振り返り
- (4) 上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会取組発表会について

<部会での検討事項等>

- (1) 令和7年度第1回上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の報告
※令和7年11月6日に開催された協議会の内容について共有

- (2) 市民啓発部会との合同研修会の振り返り
※令和7年12月10日に開催された当部会と市民啓発部会合同による『医療と介護の連携に関する研修会』についてアンケート結果やグループワークで出た意見等を共有

○感想

(地域包括支援センター)

医療職の参加が多くて良かった。

(訪問看護師)

トークセッションで自分の経験を話すことで、伝えたいことが具体化できたと思う。参加した訪問看護師から「言ってほしいことを言ってくれて良かった」と言ってもらえて嬉しかった。

(ケアマネジャー)

「意向確認の大切さ、それを繰り返すことの大切さ」を伝えたかった。アンケート結果を拝見して、伝えたいことが伝わっていたようで良かった。

(救急隊)

救急隊の立場で現場での課題を話せて良かった。

(3) 第3期(令和5~7年)の活動の振り返り

意見交換

(訪問看護)

部会での活動を通じて、本人の意向確認ができ、本人の望む“看取り”に近づけられるようになったと感じる。

(ケアマネジャー)

本人を真ん中においてどう支援するのかを考えていくことや、部会での取組を職能団体や職場、市民へどう浸透させていくかが今後の課題である。

(救急隊)

部会の取り組みの中で救急隊の役割や仕組みについて話すことができた。救急隊ができるることを、専門職や市民に伝えていきたい。

(医師)

急変時は慌てない対応が求められる。医師だけでなく、多職種と力を合わせて対応していきたい。

(救急医)

今まででは入院中のことしか分からず、地域に帰った後は介護士が介護しているものだとふんわり思っていた。部会で多職種と関わることで、医療と介護は切り離せず鎖のようにつながっていて、訪問看護や訪問診療など、色々な人が関わっていることが分かった。介護保険制度や地域での取組について、医療職に周知が進む機会があると良い。

(4) 上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会取組発表会について

令和8年2月14日(日)に開催する在宅医療・介護連携推進協議会取組発表会において、当部会から参加者へ伝えるべきキーワード等について意見交換を行った。